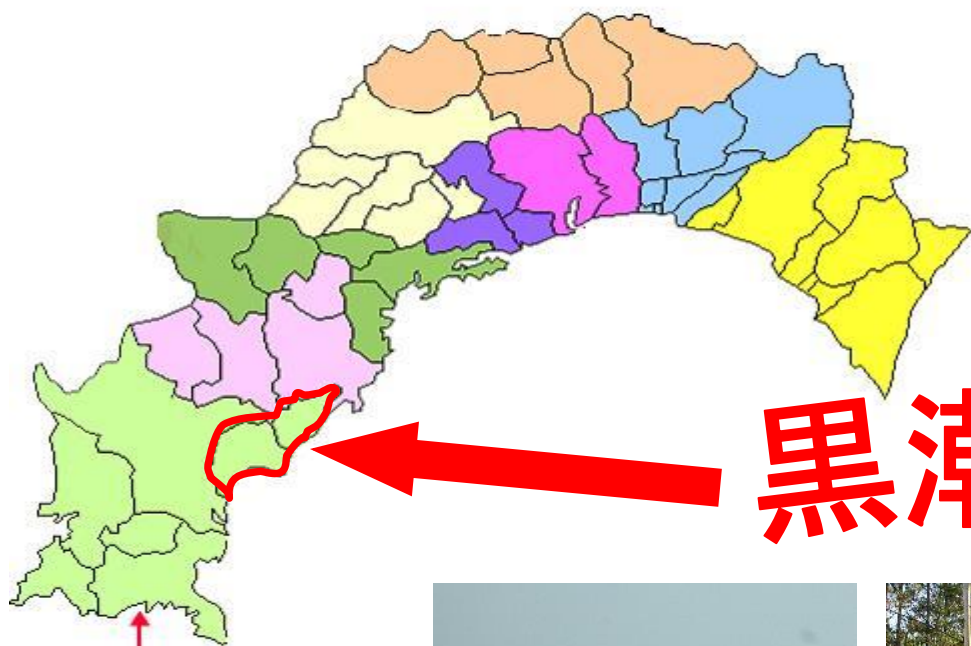


大方プロジェクト

「踊る若山楮復活計画2010」

～日本一の「楮（こうぞ）」復活のPR!～

どこ？



福多地域



黒潮町？



● ● ● 黒潮町といえば？「○○○○！」

黒潮



問題点

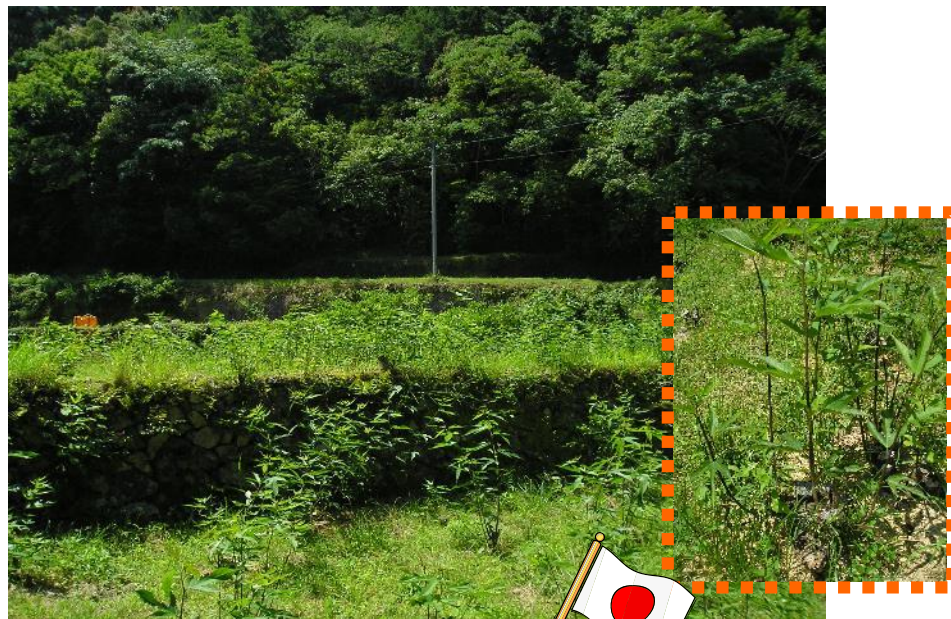
- ・知名度の低さ
- ・後継者不足

||

しゅん.. 

PR不足(;;' = ω = `)?

若山楮について学ぶ



楮＝和紙の原料

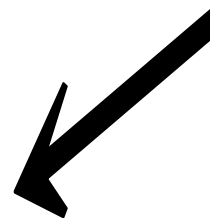
明治～昭和中期旧佐賀町の「若山楮」は品質日本一の名声



第二次世界大戦後食糧不足の為楮畑はかんしょ畑へ

若山楮は幻に...

楮の生態



人と比べたらこの位

若山楮のこだわり



- 水撒きはしない
- 化学肥料はやらない**完全無農薬**
- 無農薬米の粃殻を利用
- 除草剤は使わず草刈り

日本文化財の浮世絵修復に使用

中嶋さんのブログより



和紙というと高いので使うのがもったいないと聞きます。

ハレハレ本舗は「本物」を手軽価格にて使えるようにずっとがんばっています。

高くても買ってもらえない＝使うこともない本物。

ならば使って貰ってなんぼの入り口として「本物」に触れていただくという定番がいくつかあります。

ハレハレ本舗の小さな紙達は、

私が住む土地で育ち、ここの井戸水で漉かれ、お日様をたっぷりとおびる天日板干しという行程で自然の白さになります。

原料の段階でも無農薬、無肥料、川でのさらし、煮塾も重曹で、時には、木灰。染めは、草木染で金属ばいせんなし。

紙が何年たっても劣化しないための昔ながらの工法です。

以前は便箋とかカードをないがしろにしていました。

でも、おこづかいで買える本物を、あまり気負わずに使ってもらうことの大切さを感じだしてから、定番にちからいれています。



紙漉きの工程



1. 煮上がった楮



2. 水に晒して灰汁を抜く



3. ちりとり



4. 打開



5. 漉く



6. 漉き上がり



7. 压榨



8. 紙つけ



9. 干す



10. 仕上がり

～ハレハレ本舗～

全てが手作業
自然のままに

紙漉き体験

ねりのトロロ
葵と楮を混ぜ
て攪拌します。



紙漉きって重労働...
簡単そうに見えたのに...難しい~



はがき型に
均等に流し込
みます。



蒸し剥ぎが50年ぶりに復活!!



☆体験の感想☆



普及活動



進路部の先生の名刺を和紙にして紹介文を添える


⇒ 学校外関係者へのアピール

皆勤賞の表彰状を渡く、かつ学校便りで紹介

⇒ 生徒・保護者へのアピール

お土産コーナーの改良

⇒ 観光客へのアピール



最終目標

地域を元気に「いっしょに」